2026 年 11 月 16 日

全清飲、ドリンクジャパンで「ボトル to ボトル」水平リサイクル推進

「ボトル to ボトル」比率 2030 年 50%達成に向け、事業系ペットボトルの回収品質向上を呼びかけ

一般社団法人 全国清涼飲料連合会（会長：井辻秀剛、以下「全清飲」）は、11 月 18～20 日　東京ビックサイトで開催のドリンクジャパンの全清飲パビリオン内に設置する全清飲ブースにおいて、使用済みペットボトルを新たなペットボトルへ再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルを推進する取り組みを行います。来場者が飲んで空になったペットボトルを、キャップとラベルを外して、それぞれで回収。ペットボトルは「ボトル to ボトル」水平リサイクルへ、キャップ、ラベルについてもリサイクルに取り組みます。

清涼飲料業界は 2030 年、「ボトル to ボトル」比率 50%に向けて行政、自治体、動静脈連携による事業者が一体となり、国内資源循環を進めています。消費者の皆様の協力によりキレイに分別される家庭系回収に比べ、外出先やオフィス等の事業系は異物が多く、また混合回収など、課題があります。ドリンクジャパンの会場内（７ホール、８ホール）ではペットボトルのみの単体回収を行うことで、回収品質向上を実現。また、全清飲ブース※では、「ボトル to ボトル」水平リサイクルを提案するチラシを配布。これから「ボトル to ボトル」に取り組みたい事業者や飲料メーカーなどの相談にも対応します。

※全清飲ブース：８ホール　全清飲パビリオン　D⁻０１（全清飲の活動を紹介するコーナーも併設）

空のペットボトルの回収はドリンクジャパンの７ホール３箇所、８ホール２箇所にも設置。全清飲ブースとあわせ計５か所で回収いたします。



全清飲ブース　リサイクルステーション



ドリンクジャパン　会場内のリサイクルステーション

ドリンクジャパン HPhttps://www.drinkjapan.jp/　下記リンクをご参照ください。

来場登録、セミナープログラム、会場図

問い合わせ：一般社団法人　全国清涼飲料連合会　企画部　kikaku@j-sda.or.jp





オフィスで「ボトル to ボトル」水平リサイクルへご協力をお願いするチラシ